

事前評価報告書

Advisory Board Meeting 開催日：平成17年7月28, 29日

評価委員：（敬称略、アルファベット順）

Prof. Masuo Aizawa (Tokyo Institute of Technology), Prof. Fritz Aldinger (Max Planck Institute for Metals Research), Prof. Akio Etori (Edogawa University), Prof. Jean Etourneau (Institut de Chimie de la Matière Condensée de Bordeaux), Prof. Colin Humphreys (University of Cambridge), Dr. Tetsuro Ohashi (National Traffic Safety and Environment Laboratory), Dr. Leslie E. Smith (National Institute of Standards and Technology), Prof. Marcel Van de Voorde (European Commission Research), Dr. Stan Williams (Quantum Science Research, Hewlett-Packard), Prof. Hiroaki Yanagida (University of Tokyo)

課題名	半導体関連材料に関する基礎・基盤研究の多面的展開
研究責任者の所属・氏名	ナノマテリアル研究所 知京 豊裕
【項目】	評価結果
コメント及びアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクトは世界で最高かも知れない。また実際に影響力がある本当の国際的連携がなされている。 ・総合的に非常によいプロジェクトである。世界一流に近い。材料インフォマティックスを用いることが非常に重要である。コンピュータ科学者との共同研究が役立つであろう。 ・新材料発見のためにコンビナトリアル化学を実施する計画を開始すべきである。 ・多くの研究がこの研究分野で既になされてきた。研究結果は定性的に述べられている。産業界で実現されたことに対する、この研究の寄与をより明確にする必要がある。 ・NIMSでデバイスまでトライするのが合目的なのか。研究成果をどのように産業界へ技術移転するかが重要である。
評価点	A, S, A+, S-, S, A, A, A+, S, A
総合評価点※	A+

※評価点の点数は10(S), 9(S-), 8(A+), 7(A), 6(A-), 5(B+), 4(B), 3(B-), 2(C+), 1(C)とする。総合評価点は評価委員の点数の平均点(小数点第二位以下四捨五入)をXとすると、S:X=10, S-:9≤X<10, A+:8≤X<9, A:7≤X<8, A-:6≤X<7, B+:5≤X<6, (以下同じ考え方)・・・とする。